

大会から記録会へ 友だちとの競争から自分との競争へ

[62692.pdf \(tamba.ed.jp\)](#)

今年のマラソン記録会は「子どもたちが順位でなく、自分のタ

イムに着目できるマラソン記録会にしよう」と先生方と話し合ってきました。

竹田小では以前から順位を競う「大会」ではなく、だれもが自己ベストをめざす「記録会」と位置付けて実施してきました。しかし、子どもだけでなく保護者の方にもその意味合いが伝わり切れていないと感じる先生方と一緒に今年の記録会に向けていくつかの改革を行ってきました。

その一つとして担当が記録に着目できるようにと、記録証に当日の記録だけでなく試走時の記録を記入する欄を設けて、個人内でタイムの比較ができるようにしてくれました。当日、下校時に私のところまできて、記録証を見せながらタイムが試走の

記 録 証		
年		
試走1回目	分	秒
試走2回目	分	秒
記 録 会	分	秒

あなたは、竹田小学校マラソン記録会および試走において、心と身体をきたえ自分の力を出し切り、見事に完走しました。

そのがんばりをたたえ、ここに賞します。

令和5年11月 30日
丹波市立竹田小学校長 足立 和宏





時より速くなっていたことを嬉しそうに話してくれる子どもたちの様子を観ていると、朝の練習でもしんどくても歩かずに走っているその子たちの様子が思い浮かび、一緒になって喜び合いました。お家の方々にも、子どもたちの気持ちが届いていることを願うばかりです。

発熱等でお休みの子もあり全員参加できた学年が少なかったことは非常に残念でした。子どもたちにも感想を聞きながら来年度の実施方法についても考えていきたいと思います。保護者の皆さんからのご意見もお聞かせ下さい。

参観いただいた保護者の皆様また別日開催にもかかわらず駆けつけて頂きました2年生の保護者の皆様、温かい声援本当に

ありがとうございました。